

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	壬生町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	おもちゃのまち活性化プロジェクト	総事業費			1,000,003	1,000,006	1,001,000	3,001,009
		うち市町支出額			1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
		うち県交付金			500,000	500,000	500,000	1,500,000
2	国際観光推進事業	総事業費					2,001,000	2,001,000
		うち市町支出額					2,000,000	2,000,000
		うち県交付金					1,000,000	1,000,000
3	壬生町情報発信拠点推進事業	総事業費				3,043,308	3,001,000	6,044,308
		うち市町支出額				3,000,000	3,000,000	6,000,000
		うち県交付金				1,500,000	1,500,000	3,000,000
4	みぶの日開催事業	総事業費			583,585	161,017	600,000	1,344,602
		うち市町支出額			583,585	161,017	600,000	1,344,602
		うち県交付金			291,792	80,508	300,000	672,300
5	第18回全国藩校サミット壬生大会	総事業費					9,500,000	9,500,000
		うち市町支出額					9,500,000	9,500,000
		うち県交付金					3,000,000	3,000,000
6	壬生町農産物ブランド『みぶの妖精』推進事業	総事業費	1,252,486	2,567,583	1,494,638	1,059,487	1,606,000	7,980,194
		うち市町支出額	500,000	1,700,000	560,000	318,147	510,000	3,588,147
		うち県交付金	250,000	850,000	280,000	0	0	1,380,000
7	健康長寿のまちづくり推進事業	総事業費	300,079	300,001	300,000	300,000	300,000	1,500,080
		うち市町支出額	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	1,500,000
		うち県交付金	150,000	150,000	150,000	0	0	450,000
8	花のまちづくり推進事業	総事業費	570,196	1,087,479	1,080,002	827,500	828,000	4,393,177
		うち市町支出額	570,000	1,080,000	1,080,000	827,500	828,000	4,385,500
		うち県交付金	285,000	540,000	540,000	0	0	1,365,000
9	壬生町産業交流活性化事業	総事業費	652,000	634,000	634,001	367,001	700,000	2,987,002
		うち市町支出額	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	2,000,000
		うち県交付金	200,000	200,000	200,000	0	0	600,000
10	健康ふくしまつり開催事業	総事業費		1,790,000	1,800,001	1,800,000	1,570,000	6,960,001
		うち市町支出額		1,520,000	1,530,000	1,530,000	1,300,000	5,880,000
		うち県交付金		760,000	765,000	765,000	0	2,290,000
11	壬生町destinationキャンペーン推進事業	総事業費		2,000,003	2,000,007	1,800,000		5,800,010
		うち市町支出額		2,000,000	2,000,000	1,800,000		5,800,000
		うち県交付金		1,000,000	1,000,000	900,000		2,900,000
12	壬生まちなか創生プロジェクト	総事業費		1,000,003	1,000,003	2,000,000	800,000	4,800,006
		うち市町支出額		1,000,000	1,000,000	2,000,000	800,000	4,800,000
		うち県交付金		500,000	500,000	1,000,000	0	2,000,000
13	「みぶブランド」インスパイア ～新たな商品価値～	総事業費		500,004	1,000,005	2,594,000	1,500,000	5,594,009
		うち市町支出額		500,000	1,000,000	2,594,000	1,500,000	5,594,000
		うち県交付金		250,000	500,000	1,297,000	0	2,047,000
14	郷土の偉人顕彰作業	総事業費		2,793,940	2,783,774	2,800,000		8,377,714
		うち市町支出額		2,793,940	2,783,774	2,800,000		8,377,714
		うち県交付金		1,126,970	1,121,887	740,000		2,988,857
15	壬生町スポーツライミング普及促進事業	総事業費		598,988				598,988
		うち市町支出額		548,988				548,988
		うち県交付金		274,494				274,494
16	かんぴょう音頭踊り発表会	総事業費				1,254,793	500,000	1,754,793
		うち市町支出額				1,000,000	0	1,000,000
		うち県交付金				500,000	0	500,000
市町計		総事業費	2,774,761	13,272,001	13,676,019	19,007,112	23,907,000	72,636,893
		うち市町支出額	1,770,000	11,842,928	12,237,359	17,730,664	21,738,000	65,318,951
		うち県交付金	885,000	5,651,464	5,848,679	7,282,508	6,300,000	25,967,651

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	おもちゃのまち活性化プロジェクト
事業主体の名称	おもちゃのまち遊遊ワーキング
代表者の名称	会長 小林信作
事業主体の所在	壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:おもちゃのまち地区の賑わい創出を目的とする。 ・設立年月日:平成30年7月 ・構成員等:地元商店主、タクシー事業者、大学、銀行、商工会、おもちゃ関連施設、壬生町
当該事業に係る地域の現状と課題	おもちゃのまち地区は、昭和40～50年代にかけて、おもちゃ産業の拠点となった地区である。しかしながら、生産拠点が海外に移ったことなどにより、おもちゃ生産工場は相次いで撤退し、数社が残る状況である。現在は、全国でも珍しい地名「おもちゃのまち」として、「おもちゃのまちバンダイミュージアム」等を中心に「おもちゃ」の楽しさや面白さを来町される方へ伝えたいが、住民や訪れる方から、「おもちゃのまちらしい雰囲気を感じられるとよい」との声が多く寄せられて、まちづくりの課題となっている。
事業目的	おもちゃのまち遊遊ワーキングは、「おもちゃのまちらしさ」を醸し出せるよう、地域住民、商店主、地元ホテル、金融機関、おもちゃ関連博物館等がアイデアを持ち寄り、地域の力を結集し、まちづくりに取り組み、観光客入込数の増加を図る。
事業概要	<p>おもちゃのまち遊遊ワーキングでは、おもちゃのまち地区の活性化を図るため、核となる施設「壬生町おもちゃ博物館」や「おもちゃのまちバンダイミュージアム」「ホスピタルイン獨協医科大学」を中心とし、おもちゃのまち駅東西の商店街も一体となったまちづくりを展開する。</p> <p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 おもちゃのまちで、昔ながらの水鉄砲やビーズアクセサリなどを作成し、子ども達をターゲットにし、アニメ関連のイベントも同時開催することで、子どもから大人まで楽しめる「おもちゃのまち」らしいイベントを開催する。 ②「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 おもちゃのまち駅周辺には、多くの飲食店があり、ホスピタルイン獨協医科大学を利用する方々などの観光客に向けた飲食パンフレットを作成する。 ③「おもちゃのまち」街並み装飾事業 おもちゃのまちらしいフラッグや楽しんで巡る仕掛けを設置し、来町者数の増加を図る。 ④「おもちゃのまち」DE街コン事業 定期的に町飲食店で開催し、おいしい料理やゲームなどをして男女の出会いの場を作る。 <p>【令和3年度】</p> <p>令和元年度実施事業を検証しながら、事業展開を進め、活性化に繋げる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,709,996人(H30)→5%増加(R7) 【R1実績 3,584,481人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①おもちゃのまちDE銀杏並木まつり事業 ②おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 ③「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 ④「おもちゃのまち」街並み装飾事業	①おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 ②「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 ③「おもちゃのまち」街並み装飾事業 ④おもちゃのまちDE街コン事業	①おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 ②「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 ③「おもちゃのまち」街並み装飾事業 ④おもちゃのまちDE街コン事業		①おもちゃのまちDEおもちゃづくり事業 ②「おもちゃのまち」うまいものマップ事業 ③「おもちゃのまち」街並み装飾事業 ④おもちゃのまちDE街コン事業
事業費	1,000,003	1,000,006	1,001,000	3,001,009	500,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	500,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3	6	1,000	1,009	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課観光交流係	
担当者名	河田 将貴	
連絡先	電話	0282-81-1844
	FAX	0282-82-1107
	E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもちゃのまち活性化プロジェクト	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	1,000,000	栃木県わがまち未来創造事業補助金500,000円 壬生町補助金 500,000円
雑入	1,000	利息等
計	1,001,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	40,000	40,000	20,000	0	出演者謝金20,000×2
消耗品費	150,000	150,000	75,000	0	事務用(養生テープ、街コン 消耗品等)
食糧費	10,000	10,000	5,000	0	イベント等出演者用お茶代 20本×5回
印刷製本費	350,000	350,000	175,000	0	うまいものマップ10,000部 イベントポスター200枚 イベントチラシ3000枚
委託料	450,000	450,000	225,000	0	イベント等開催支援 街灯フラッグ50枚作成 QRコード周遊パネル50枚
予備費	1,000		0	1,000	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,001,000	1,000,000	500,000	1,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	国際観光推進事業
事業主体の名称	壬生町国際観光推進協議会
代表者の名称	会長 小菅 一弥
事業主体の所在	壬生町通町12-22
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:外国人等の受入体制や情報発信を行い、外国人も含めた誘客を図る。 ・設立年月日:令和2年3月18日 ・構成員等:町・商工会・町議会・JA・他観光に関連した各種団体
当該事業に係る地域の現状と課題	町では、近年急速に拡大しているインバウンド観光への対応、平成29年度から令和元年度に展開された国内最大級の観光キャンペーン「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーンで培った観光のノウハウをDCレガシーとして引き継ぎ、国内そして、海外からのお客様を本町へ誘客することを必要としています。町内には、海外にも注目されると思われるおもちゃに関する観光施設が、2ヶ所あり、来場者の中には外国人もいるが、多言語パンフレットが無いため、海外への情報発信が弱い状況にある。
事業目的	当該事業は、ホームページやパンフレット等の多言語対応の推進や、DCレガシー事業としてのイベントの開催により、インバウンドの受入れ体制の強化や観光客入込数の増加につなげる。
事業概要	<p>令和2から3年度の2か年をインバウンド対策強化年間と位置づけし、外国人向けの情報発信を強化し、壬生町への観光客の誘客を促進する。</p> <p>令和2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ①国際観光推進事業 町観光協会HP、観光パンフレットの多言語対応を推進し、外国人へのPRを図る。 ②DCレガシー事業 壬生町ツアー、観光協会主催イベントへの連携、町外への情報発信及び誘客を図る。 ③観光プロモーション事業 観光PRを実施し、観光客の誘客を図る。 <p>令和3年度</p> <p>令和2年度の事業成果を活用し、町への誘客拡大を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,709,996人(H30)→5%増加(R7) 【R1実績 3,584,481人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容			①国際観光推進事業 ②DCレガシー事業 ③観光プロモーション事業		①国際観光推進事業 ②DCレガシー事業 ③観光プロモーション事業
事業費			2,001,000	2,001,000	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)			2,000,000	2,000,000	1,000,000
うち県交付金			1,000,000	1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	1,000	1,000	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課観光交流係	
担当者名	大橋 由孝	
連絡先	電話	0282-81-1844
	FAX	0282-82-1107
	E-mail	keizai@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	国際観光推進事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	2,000,000	栃木県わがまち未来創造事業補助金1,000,000円 壬生町補助金 1,000,000円
雑入	1,000	利息等
計	2,001,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	50,000	50,000	25,000	0	研修会等講師謝礼
旅費	150,000	150,000	75,000	0	観光PR旅費
消耗品費	133,500	133,500	66,750	0	ファイル、インク等
食糧費	10,000	10,000	5,000	0	イベント等出演者用お茶代
印刷製本費	350,000	350,000	175,000	0	多言語パンフレット作成
委託料	1,306,500	1,306,500	653,250	0	観光協会HP多言語対応、 ツアー造成
予備費	1,000			1,000	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	2,001,000	2,000,000	1,000,000	1,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生町情報発信拠点推進事業
事業主体の名称	道の駅みぶ連絡推進協議会
代表者の名称	会長 山重利子
事業主体の所在	壬生町大字国谷1870番地2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:道の駅みぶのイベント情報、町からの事務連絡、各店舗からの情報などを共有し、円滑な施設運営を図り、道の駅みぶ来場者の向上を実践する。 ・設立年月日:平成31年4月1日 ・構成員等:(株)みぶの路代表、(株)おもちゃメーカー協力会代表、(株)みぶのやおやさん代表、ミップタウン代表、ストロベリーファーム代表、みらい館代表、栃木県民公園福祉協会、町施設振興公社、町商工会、町
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>みぶハイウェイパークが、平成21年10月に供用開始し現在、年間約220万の来場者がある施設となり、施設内の店舗においては、町内20社で構成された法人等による売店、食堂、町内生産者で多くの農産物を販売している農産物直売所、町内パティシエによるフルーツパーラーがあり、壬生町の特産品等を販売する拠点となっている。</p> <p>しかしながら、高速道路のPAとしての利用者にとっては、観光目的地への立ち寄り所としての利用であるため、みぶハイウェイパーク、道の駅みぶの認知度が低い状況にある。</p> <p>また、道の駅みぶには、おもちゃ博物館やわんぱく公園があり、1日遊べる施設もあるため、立ち寄り場所ではなく、観光目的地としてPRしていくために、道の駅の玄関口であるみらい館で、定期的なイベントを実施する必要がある。</p>
事業目的	<p>道の駅みぶを拠点に、来訪者に向けて情報提供・PRを図り、観光客入込数の増加につなげる。</p> <p>また、イベントの開催やオリジナル商品の開発・販売により、町民相互の交流の促進、町の産業振興、文化振興及び地域の活性化を図る。</p>
事業概要	<p>【令和2年度】</p> <p>①イベント開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みらい館来場者向上のため、秋季収穫祭・感謝祭、いちご祭等を3連休に当たる時期に開催し、ステージイベントやスタンプラリーを実施し、滞在時間の拡大を図る。 ・農産物直売所を活用し、野菜の詰め放題、米のつかみ取り等、農産物のイベントを開催する。 <p>②販売促進(研究・開発)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みらい館のオリジナルの商品を研究し、壬生町らしいお土産品の開発を行う。 <p>③PR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催チラシを作成し、新聞折り込みにより広告する。 ・インターネット上に広告を掲載し、県外の来場者の促進を図る。 ・地元新聞等に広告を掲載し、PRを行う。 <p>④道の駅イベント出店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市町で、開催される道の駅関連イベントに出店し、PRを行う。 <p>【令和3年度】前年度の反省点等を踏まえ、継続して実施</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>壬生町創生総合戦略 基本目標2</p> <p>壬生町への新しい人の流れをつくる。</p> <p>【数値目標】みぶハイウェイパーク来訪者数 2,261,397人(H30)→2,500,000人(R7)</p> <p>【R1実績 2,117,509人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容		①イベント開催 ②販売促進 ③PR活動 ④道の駅イベント出店	①イベント開催 ②販売促進 ③PR活動 ④道の駅イベント出店		①イベント開催 ②PR活動 ③道の駅イベント出店
事業費		3,043,308	3,001,000	6,044,308	2,574,000
市町支出金 (ソフト事業分)		3,000,000	3,000,000	6,000,000	2,573,000
うち県交付金		1,500,000	1,500,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	43,308	1,000	44,308	1,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課みらい館係
担当者名	矢川 己三男
電話	0282-82-3591
FAX	0282-82-3593
E-mail	miraikan@bz03.plala.or.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生町情報発信拠点推進事業(みぶハイウェーパーク)	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	3,000,000	
雑入	1,000	利息等
計	3,001,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	200,000	200,000	100,000	0	イベント出演者謝礼 @20,000円×5組 商品研究講師謝礼 @50,000円 イベント抽選会景品 @500円×50個×2回
旅費	10,000	10,000	5,000	0	道の駅イベント出店交通費
消耗品	186,000	186,000	93,000	0	みらい館PR用ノベルティ、 イベント用消耗品
印刷製本費	218,000	218,000	109,000	0	みらい館イベント用チラシ (新聞折り込み)
広告費	696,000	696,000	348,000	0	ネット、新聞等広告費
委託料	1,631,000	1,631,000	815,500	0	ステージ等設営業務、駐車 場警備業務、音響設備業 務、司会進行業務、ステージ 演奏業務
原材料費	50,000	50,000	25,000	0	オリジナル商品研究材料費
負担金	10,000	9,000	4,500	1,000	イベント出店負担金
				0	
				0	
計	3,001,000	3,000,000	1,500,000	1,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	みぶの日開催事業
事業主体の名称	みぶの日実行委員会
代表者の名称	会長 櫻井 康雄
事業主体の所在	栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 毎年3月2日「32(みぶ)の日」を中心に壬生町の魅力を発信するためのイベントを開催する ・設立年月日: 平成27年12月 ・構成員等: 社会福祉協議会、自治会連合会、商工会、JALしもつけ壬生地区営農経済センターなど
当該事業に係る地域の現状と課題	本町は伝統芸能や優れた食文化等の地域資源を有しているが、認知度不足、担い手の高齢化などの問題を抱えており、有効に活用しきれていない状況が続いていることから、毎年3月2日「32(みぶ)の日」を位置づけて、その魅力を再認識するとともに、町内外に発信することが求められている。
事業目的	「みぶの日フェア」を開催することにより、町民の交流促進や地域資源の掘り起こしを図るとともに、町外や県外に向けて、壬生町の魅力を発信し、壬生町を訪れる方に「ちょっと寄りたいまち・みぶ」として定着を目指すことで、交流人口の増加及び町の活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>事業名称: みぶの日フェア 開催日: 令和3年3月7日(日) 開催場所: みぶハイウェイパークみらい館(道の駅みぶ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各種ステージイベント: 壬生町出身アーティスト等によるステージ、壬生町の伝統芸能のステージ演奏 ②町特産品を活用した料理の提供: 特産「かんぴょう」を使ったカミナリ汁、特産「みぶ菜」を使ったオリジナル料理など ③町特産品の販売: 特産物(いちご・トマト等)の販売、みぶブランド認定品の紹介・販売、おもちゃ関連の販売など ④町の歴史・文化の紹介: 壬生町の歴史・文化財紹介など ⑤体験コーナー: かんぴょうボウリング、缶バッジづくりなど
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,709,996人(H30)→5%増加(R7) 【R1実績 3,584,481人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町特産品の販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町特産品の販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町特産品の販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー		①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町特産品の販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー
事業費	583,585	161,017	600,000	1,344,602	600,000
市町支出金 (ソフト事業分)	583,585	161,017	600,000	1,344,602	600,000
うち県交付金	291,792	80,508	300,000	672,300	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課
担当者名	桑川 紘慧
電話	0282-81-1813
FAX	0282-82-8262
E-mail	sougo@town.mibu.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	みぶの日開催事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	600,000	町補助金
計	600,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
委託費	430,000	430,000	215,000	0	会場設営(@300,000円) ステージ運営(@80,000円) 駐車場整理(@10,000円×5名)
報償費	90,000	90,000	45,000	0	出演料(@30,000円×3組)
印刷製本費	31,500	31,500	15,750	0	ポスター(@600円×30枚) チラシ(@45円×300枚)
消耗品費	48,500	48,500	24,250	0	事務用消耗品
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	600,000	600,000	300,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	第18回全国藩校サミット壬生大会
事業主体の名称	第18回全国藩校サミット実行委員会
代表者の名称	会長 田村幸一
事業主体の所在	〒321-0225 栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33(壬生町立歴史民俗資料館内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 郷土の偉人を知ることにより、郷土文化の再認識と高揚を図る。 ・設立年月日: 平成31年度5月18日 ・構成員等: 教育長、壬生論語作成実行委員会、藩校サミット実行委員会他
当該事業に係る地域の現状と課題	壬生町立歴史民俗資料館では、平成4年度から小学校との連携により「郷土の偉人顕彰作業」を実施している。その作業の中で「論語の街・壬生」そして、「学問の府・壬生」を見いだし、「街づくり」の一環として情報を発信している。この発信された歴史から、平成25年度に刊行した『壬生論語古義抄』を副読本として、管内小学校は「論語」を誦んじる素読を導入した。また、同年には町民を対象とした「壬生論語古義塾」を開講し、歴史に基づく確かな第一歩を踏み出している。しかしながら、近年発見された歴史を広く浸透させることは難しく、引き続き「偉人顕彰」を行うことにより、壬生藩学、ひいては壬生という地域の特色を多くの町民に発信続ける必要がある。
事業目的	全国藩校サミット壬生大会を開催することで、壬生の魅力を発信し交流人口の輪を広げる。
事業概要	<p>毎年、展示で取り上げた人物の多くは江戸期に設立された藩学<学習館>の卒業生で、全国に発信できる業績を持つ。今回は、「郷土の偉人顕彰作業」事業の一環として第18回全国藩校サミット壬生大会を実施する。本事業の藩校サミットは藩校の学びを取り入れた事業を行う自治体が集まり、その取り組みを披露する場であるとともに、当時の大名家の子孫が集まる稀有な会議となる。壬生町は県内で最古級の設立となる藩校「学習館」の歴史を踏まえ、壬生独自の「論語古義」や学校教育における論語の取り組みについて紹介する。この事業を開催することで、壬生町の歴史や魅力を全国に広めるとともに、町民が地域の魅力を再確認できるものとする。</p> <p>【藩校サミット】 開催日 令和2年11月21日(土)・22日(日) ①藩主・藩校会議 歴代藩主及び藩校関係者による事業・取り組みなどの報告を行う。 ②講演会 藩校や幕末に関する基礎講演を行い、参加者への歴史的な理解を促す。 ③論語サミット及び論語の朗読 町内各小学校の代表者が、自校の論語に関する取り組みを話し合い、会場全体で論語の朗読を行う。 ④エクスカージョンの実施 町内及び足利市・日光市などの藩校や日光社参でつながりのある地域の見学会を行い、観光客の増加を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	壬生町創生総合戦略 2. 壬生町への新しい人の流れをつくる 【数値目標】観光客入込数3,709,996人(H30)→5%増加(R7) 【R1実績 3,584,481人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容			①藩主藩校会議 ②講演会 ③論語サミット&小中学生による論語朗読 ④エクスカージョンの実施		①企画展『宮沢賢治の学友、鯉沼忍』 ②講演会の開催
事業費			9,500,000	9,500,000	3,000,000
市町支出金(ソフト事業分)			9,500,000	9,500,000	3,000,000
うち県交付金			3,000,000	3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	壬生町立歴史民俗資料館 学芸係
担当者名	秋元 千秋
連絡先	電話 0282(82)8544
	FAX 同上
	E-mail c-akimoto01@town.mibu.tochigi.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	第18回全国藩校サミット壬生大会(郷土の偉人顕彰作業事業として)	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	9,500,000	壬生町(県交付金「わがまち未来創造事業」込)
計	9,500,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
使用料及び賃借料	200,000	200,000	100,000	0	藩主・藩校会議室借上料等
委託費	3,600,000	3,600,000	1,000,000	0	大型バス、会場設営、進行業務等
報償費	1,000,000	1,000,000	350,000	0	講師・出演者謝金、記念品(論語日捲り)
旅費	1,500,000	1,500,000	500,000	0	旧藩主、出演者招待による旅費、宿泊費
印刷製本費	1,500,000	1,500,000	500,000	0	大会記念誌、記念報告書、チラシ等
消耗品費	1,000,000	1,000,000	450,000	0	ボールペン等
通信運搬費	50,000	50,000	25,000	0	郵送料
食糧費	500,000	500,000	0	0	藩主・藩校会議昼食、出演者昼食等
保険料	150,000	150,000	75,000	0	参加者賠償保険料
				0	
計	9,500,000	9,500,000	3,000,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合